



桑名市総合医療センター

News

vol.45

spring



2016年春、桑名市総合医療センターに総勢85名の新しい仲間が加わりました！

CONTENTS

特集 (2)～(9)	春、新たなスタート！
医療人 (10)(11)	病理のしごと ～ 臨床検査技師編 ～
健康ミニ知識 (12)	急性アルコール中毒にご用心！！
主な取り組み (13)	桑名西医療センターに小児心療内科を開設しました 小児心療内科ってどんなところ？
トピックス (14)	感染対策を学ぶ研修会 初期臨床研修を終えて
お知らせ (15)	各種教室のご案内 4月から入院患者さんの食事負担が変わります！
連載 (16)	建設現場レポート vol.3 なんでも Q&A



特別対談

新しい病院のカタチ

理事長 竹田 寛 × 総括看護部長 野中 時代

桑名市総合医療センターでは、2018年の開院を目指し、昨年末から病院の建設が始まりました。新病院では、周産期や小児を含めた救急医療の充実に力を入れ、心筋梗塞や脳血管障害などにも迅速に対応できる急性期病院としての役割を担っていきます。また「がん」に対する様々な治療にも力を入れ、リウマチなどの慢性疾患にも対応できる総合病院を目指しています。

この春、新病院を支える大きな力となる看護部に着任した野中時代総括看護部長と竹田寛理事長が「新しい病院のカタチ」をテーマに六華苑（旧諸戸清六邸：桑名市桑名）で対談を行いました。



活気あふれる看護部

竹田 桑名市総合医療センターは、地域中核病院として2018年に新たなスタートを切ります。それに向けて、今後は3つの医療センターの統合へと舵を切ることになります。そのためには様々な調整が必要になり、特に看護師のみなさんが果たす役割が大きくなると考えています。

野中 これまで私は看護部長としていくつかの病院で勤務させていただき、様々な経験をさせていただきました。当センターではそうしたノウハウ

を生かしながら、他職種と連携し、一丸となって取り組んでいきたいと考えています。

竹田 病院経営の建て直しがされた経験もあると聞いていますが。

野中 かつて赤字経営に悩む病院があったのですが、看護部が中心となり職員が一致団結し、救急医療に力を入れたことで黒字化することができました。この時「看護部が変われば病院は変わる」と身を持って経験しました。この経験を生かし、今以上に活気あふれる看護部を作りたいと考えています。

地域住民が安心して受診できる病院へ

竹田 新病院の建設に先立ち、一昨年4月、東医療センターに周産科を開設し、今まで桑名ではできなかった未熟児や早産児の治療に力を入れてきました。この4月から西医療センターに救急科を開設し、東、西、南医療センターが力を合わせて桑名地区における救急医療の拡充に取り組んでいきます。また、総合診療科の外来も開始されました。ようやく、この地域に本来必要な医療を提供できる体制が整いつつあります。

野中 地域のみなさんに喜んでいただける病院を実現したいですね。そのために看護師が積極的に支援する体制を作っていきたいと考えています。医師をはじめ様々な職種の人々が働きやすい環境こそ、地域のみなさんが安心して受診できる病院になると考えています。



若い力に期待

竹田 桑名は名古屋にも近く、若い人たちが集まりやすい環境です。建設中の新病院は駅から近いので、三重県内だけでなく愛知県内からも通勤することができる環境です。

野中 看護部としても若いやる気のある看護師さんに是非集まってもらいたいと考えています。正直なところ、建設が終わる2年後までは古い病院で働きやすい環境とは言いがたい状況です。そうしたハード面を補えるよう、ソフト面に力を入れていきたいと考えています。「できることはすぐ行う」をモットーにしていますので、どんなことでも気軽に声をかけていただければと思っています。

竹田 私は「桑名に来ればいろいろなことにチャレンジできる!」という環境を創りたいと考えています。そうした環境を作ることこそ、私たちの役目だと考えています。この桑名から日本の医療を変えていきましょう。



野中 時代（のなか じだい）
1949年生まれ、長崎県出身。
国立名古屋病院付属看護助産学校卒業。
中部労災病院、東海産業医療団中央病院、
常滑市民病院、名鉄病院などを経て
2016年4月より現職。
助産師、介護支援専門員。

竹田 寛（たけだ かん）
1949年生まれ、三重県出身。
1975年三重大学医学部卒業後、慶應義
塾大学病院、米国ジョンズ・ホプキンス
大学留学などを経て、三重大学医学部教
授に就任。2009年から2013年まで同
附属病院長を務め、同年10月より現職。
専門は放射線科。

特集

春、新たなスタート！

はじめまして！

この春、副理事長に就任した
白石です。

私は医学部を卒業して40年になります。三重大学の勤務を経て、この春、当センターに着任しました。

実は、当センターとは縁が深く、病院統合前の山本総合病院にも桑名市民病院にも非常勤の病理医として勤務しておりました。当時とはずいぶん変わったなと思ったところもありましたが、やはり懐かしく、20年の歳月を経てまた戻ってこれたのだと思うと深い感慨がありました。

さて、当センターでは2年後の新病院開院に向けて職員が一丸となって着々と準備を進めております。これまで以上に愛され、頼られる病院を目指して、私も一緒になって汗をかいているところです。

市民のみなさんも開院の日を待ち望んでいらっしゃると思います。チャレンジの心で、新たな病院の誕生に取り組みますので、どうぞよろしくをお願いいたします。



白石 泰三（しらいし たいそう）

1953年生まれ、愛知県出身。

1979年三重大学医学部卒業、1983年同大学院修了。福井医科大学、三重大学附属病院などを経て2016年4月より現職。

突撃☆ インタビュー

白石先生の素顔に迫る！

～ あんなこと・こんなこと ～



病理の魅力

病理の魅力はなんといっても「病気が目に見える」ことです。医学書には異なる病気であっても同じような症状や検査が記載されていることがありますが、実際に病気の臓器を見てみると違いは一目瞭然です。私は学生時代にこのことに魅了されてしまい、今まで病理の道を歩んできました。病理学は「かたち」を観察し「正常な状態との違い」を見つけることが仕事です。この違いをどこまで見分けられるかが病理医の腕にかかってきます。私が身につけてきた技術を是非若い人たちに習得してもらいたいと考えています。



医療センターの魅力は？

ズバリ！人です。当センターには魅力あるスタッフがたくさんいます。専門性の高い知識や技術を持つ人、患者さんの立場に立って考え行動出来る人、「この領域だったら誰にも負けない」と自負できる特技を持つ人がいます。ここで働くスタッフの持ち味こそ当センターの魅力だと思っています。まずは、スタッフのことを知り魅力あるスタッフを見つけ出すことからスタートしたいと考えています。



大切にしていること

私は何事にもこだわりを持たず、その場で起きていることに臨機応変に対応することを心掛けています。目の前で起こる一瞬一瞬に真正面から向き合い、自分にとってベストを尽くすように心掛けています。



新たな挑戦

私は今まで病理学が専門だったため、患者さんと接する機会がほとんどありませんでした。しかし、ここでは病気についての説明をするなど患者さんと近い所で働きたいと思っています。また、大学でたくさんの医師の卵を育ててきた経験を生かし、研修医の教育にも力を入れていきたいと思っています。



趣味

趣味というほどでもありませんが、筋トレやジョギングなど体を動かすことを色々やっています。実は本格的に運動をはじめたのは50歳になってからなのですが、今ではフルマラソンにも挑戦しています。揖斐川の堤防は景色が良くジョギングに向いたコースなので是非走りたいと思っています。見かけたら声をかけてください。



休日の過ごし方

これからは、しばらく乗っていなかった大型バイクでぶらりと出かけたいと思っています……。

地域のみなさんの健康を支えることができるように頑張ります！

桑名西医療センター
救急科
佐々木 俊哉 医師



この地域の
救急医療体制の
充実に尽力します！

特集 春、新たなスタート！

思いやりの心で
安心できる検査を
心掛けます！

臨床検査技師



安心して
過ごしていただく
力になります！

医療ソーシャルワーカー



桑名東医療センター
腎臓内科
西田 順二 医師



桑名東医療センター
外科
佐藤 梨枝 医師

これまで主に
消化器や乳腺の
疾患を診てきました。
地域のみなさんが
安心できる医療を
実践します！



お困りの症状と
お体全体を診て
適切な判断をするように
心掛けています！

桑名東医療センター
整形外科
須藤 隆夫 医師



にこやかな笑顔で
患者さんに寄り添って
医療を届けます！

事務員



粘り強さと誠実さを心に！

笑顔と信頼を届けたい！

臨床研修医



薬剤師



特集
春、新たなスタート!



桑名南医療センター 看護師

元気☆
フルパワー

優しく
あたたかい看護を
心掛けます!



桑名西医療センター 看護師

桑名東医療センター 看護師

思いやりの心で
患者さんに寄り添います!

患者さんを
笑顔にさせられる
看護師になります

最高の笑顔で
粘り強く
あきらめない!!

患者さんに
ホッとした時間が
届けられるように
頑張ります!!



病理の
しごと

りんしょうけんさぎし
～ 臨床検査技師編 ～

体に異変が起きると、私たちは病院へ行きます。病院では、医師が体の内と外から異変の原因を探りますが、その原因が体の外からだけではわからない場合、体の中に踏み込む検査が必要になります。

検査には、血液、尿、組織の一部などを取り出して検査する「検体検査」と、体の表面や内部を心電計や機械で検査する「生体検査」の2種類があります。医師の指示により検体検査や生体検査を行う人を臨床検査技師といいます。

今回の医療人は、臨床検査技師の中でも主に病理部門で検査を行っている「組織の一部から顕微鏡標本を作製する職人たち」をご紹介します。

標本作製から病理診断までのながれ

患者さんの体から取り出された組織の一部（細胞、組織、臓器）を顕微鏡で詳しく観察し、「がん」かそうでないかを診断したり、病気の広がり、治療方針や治療効果を判定したりすることを病理診断といいます。臨床検査技師は、病理診断に必要な標本を作製しています。

1 検体受付

診断する組織の一部を受け取ります。



2 切り出し

病理医が標本にする部分をメスで切り出します。



3 包埋（ほうまい）

観察する組織片をロウで固めます。



4 薄切（はくせつ）

ロウで固めた組織を薄くスライスします。



5 染色（せんしよく）

切り出した組織を見やすくするために色を付けます。



6 病理診断

作製された標本を病理医が観察し、病気を突き止めます。



座談会

小さな異常も見逃さない！

稲吉 病院では血液検査や超音波検査など、毎日さまざまな検査が行われています。

伊藤 そうですね。それは検査によって患者さんの体の状態を客観的にみることができるからなんです。

森 ほとんどの検査は結果が数値で報告されるのですが、私たちが携わる病理検査はまったく異なります。患者さんの体から取り出された組織の一部から標本を作製し、顕微鏡を使い、目で見て正常とのちがいをを見つけ出していきます。

伊藤 どの検査にも共通することですが、検査で得られた情報が患者さんを診断する材料になります。少しのミスでも大変なことになりますから、いつも細心の注意を払い、一つひとつの検体を丁寧に正確に取り扱うようにしています。

森 そして正確な診断をするには良い標本を作らなければならない。良い標本を作るには、作る技術を磨くのはもちろん、使用する機器や試薬が常に万全な状態に保たれていることが大切です。

稲吉 試薬などの状態によっては標本の出来上りが左右されてしまうこともありますから。使用後は必ずメンテナンスをして常に万全の状態にしています。

伊藤 ところで、稲吉さんは昨年末に細胞検査士の資格を取りましたね。

稲吉 はい。とても難しい試験でした。



（左から森さん、稲吉さん、伊藤さん）

伊藤 細胞検査士とは、がん細胞を探し出すスペシャリストです。資格を取るには、臨床検査技師として細胞診検査の実務経験を1年以上積んだうえに、筆記と実技の試験に合格しなければなりません。正常な細胞の中からがん細胞を見つけ出すには、専門的な知識と高い技能が必要だからです。

森 東、西医療センターには、私たちが含めて4名の細胞検査士がいます。これからも専門職としての技術を磨き、「小さな異常も見逃さない！」という信念を持って、検査の立場から患者さんを支えていきたいと思っています。

急性アルコール中毒にご用心!!

桑名東医療センター 消化器内科部長 大森 茂

4月は入学や就職、転勤等新たな門出を迎える方がたくさんおられ、歓迎会等のイベントで飲酒をする機会が多くなりますが、特にこの季節、問題となるのが急性アルコール中毒です。

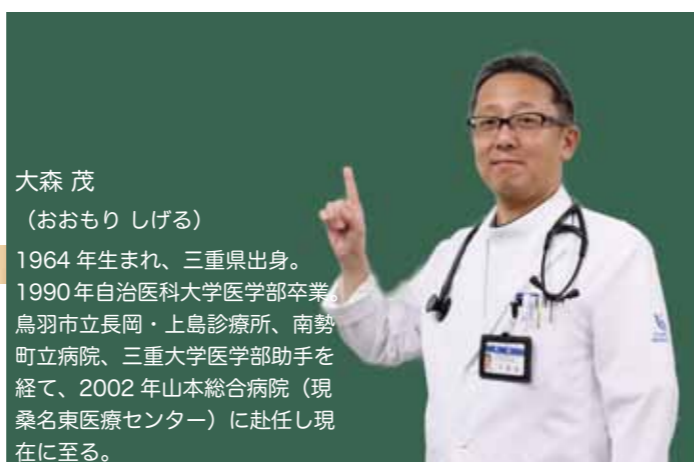
急性アルコール中毒とは、お酒（日本酒、ビール、焼酎、ワイン等）を短時間に多量に摂取したために、通常の酔った状態を超えて、運動失調や意識障害、さらには昏睡（こんすい）、呼吸抑制、血圧低下といった状態が生じることです。重症の場合には死亡することも多く、決して軽視できません。

若年者・女性・高齢者などでリスクが高まり、とくに大学生や新社会人では一気飲みとして飲酒させられ、死亡に至るケースが毎年発生しています。通常、血中アルコール濃度が0.02%から0.1%程度ですとほろ酔いと呼ばれるリラックスした状態になりますが、0.3%を越えると泥酔期と呼ばれるもうろう状態、0.4%を越えると昏睡期という生命に危険を生じうる状態になります。どの程度から急性アルコール中毒となるのか明確な

基準はありませんが、泥酔以上の状態では意識レベルが低下し、嘔吐・血圧低下・呼吸数の低下などが起こり、生命に危険をおよぼす可能性があります。

一般に若年者・女性・高齢者・飲酒後に顔の赤くなるタイプの人はアルコールの分解が遅いため、飲酒によるリスクが高まります。中でも若年者は自分の限界が分からないこと、アルコールに対してまだ耐性が低いことなどから、急性アルコール中毒のリスクが高いと考えられます。

せっかくの楽しいイベントが取り返しのつかないものにならないよう、くれぐれも飲みすぎには気を付けて、また他人には飲ませすぎることないように気をつけたいものです。



大森 茂
(おおもり しげる)

1964年生まれ、三重県出身。
1990年自治医科大学医学部卒業。
鳥羽市立長岡・上島診療所、南勢町立病院、三重大学医学部助手を経て、2002年山本総合病院（現桑名東医療センター）に赴任し現在に至る。

急性アルコール
中毒にならない!

飲酒のルール

- ✓ 自分の適量を知るとともに、その日の体調にあわせて飲酒量を決めましょう。
睡眠不足や体調不良時の飲みすぎは急性アルコール中毒の危険因子です。
- ✓ 空腹時や水分不足での飲酒は危険です。
タンパク質や脂肪分を合わせて摂取し、こまめにお酒以外の水分を取るようにしましょう。
- ✓ 短時間に多量の飲酒（一気飲み）をすることはやめましょう。
- ✓ お酒が飲めない体質の方は、周囲の人に「お酒が飲めない体質です」と事前に伝えておきましょう。
それが分からなければ飲みすぎは非常に危険です。
- ✓ 飲酒の無理強いは、しないようにしましょう。
- ✓ 周囲の人は酔った人に付き添い、一人にしないようにしましょう。
- ✓ 酔った人が吐いた場合、吐いたものが喉につまらないように注意しましょう。

桑名西医療センターに 小児心療内科を開設しました

子供の発達について悩んでいませんか？

桑名西医療センターでは、4月から小児心療内科を開設しました。

「落ち着きがなく、じっとしてられない」、「お友達との関わりが苦手」、「こだわりが強すぎて融通が利かない」など子供の発達のことでお困りの方は、小児心療内科に受診していただけます。担当は、この分野の専門の成田正明先生です。

成田先生に聞きました!

小児心療内科ってどんなところ？



小児心療内科とは？

小児心療内科とは、幼児期から中学生くらいまでのお子さんの心身の発達等に関する診療を幅広く行う専門外来です。

診察の対象は？

幼児期から中学生くらいまでの方で、自閉、多動、学習障害、場面緘黙（かんもく）、発達の遅れ、不登校等にお困りの方が対象となります。それ以外の年齢、症状の方でもお気軽にお問合せください。

診察してもらうには？

診察は完全予約制です。
診察に時間がかかりますので、一日の診察数に限りがあり、すぐに予約が取れないことがあります。できるだけ早めに診察できるようにいたしますのでご了承ください。

予約電話

0594-22-7111（代表）

予約受付時間

14:00～17:00 月～金（祝祭日除く）

外来のご案内

小児心療内科
(完全予約制)

5月 6月以降
診察日： 5/23(月) 第2、4火曜日
※都合により変更されることがあります。

時間： 13:00～17:00

担当医： 成田正明 医師
(三重大学発生再生医学教授)

うつらない！うつさない！ひろげない！

感染対策を学ぶ研修会

3月8日、くわなメディアライブで院内感染対策の一環として桑名東、西、南医療センターの全職員を対象に研修会を開催しました。

当日は三重病院の菅秀（すが しげる）副院長にお越しいただき「医療従事者に必要なワクチン」というテーマでご講演いただきました。

日頃から職員一人ひとりが感染に関する知識を深め、患者さんが安心して受診できる病院づくりを心掛けています。



∴ Note ∴

病院を感染から守る！

感染対策チーム (Infection Control Team)

病院には、感染症(*)にかかっている人と抵抗力がなく感染症にかかりやすい人が同じ建物の中にいます。また、感染症を治すためにしばしば抗菌薬が使用されますが、抗菌薬が効かない菌(耐性菌)がいる可能性もあります。

感染対策チームは、このような医療環境の中で感染が起きないように予防したり、感染の発生をできるだけ早く発見したりして感染を広げないための活動をしています。

*微生物(細菌、カビ、ウイルスなど)が人の体内に入り込んで増殖し、人に危害を与える病気のこと。

ICTの主な活動



旅立ちのとき

初期臨床研修を終えて

3月17日、桑名シティホテルで平成27年度初期臨床研修修了式を開催しました。

式では、当センターで初期臨床研修を終えた研修医9名が桑名東医療センターの岡田喜克病院長から修了証書を授与された後、2年の研修期間を振り返り印象に残ったエピソードや今後の抱負を発表しました。今後はさまざまな医療現場での活躍が期待されます。



各種教室

受診の有無にかかわらず、どなたもご参加いただけます。

妊婦さん・産後ママのための教室 [予約制] 場所：桑名東医療センター Tel: 0594-22-3709

内容	開催日	時間	参加費	対象
マタニティ・ヨーガ	第2・4木曜日	13:30~15:30	700円	妊娠15週以降の正常な妊娠経過の方(医師の許可が必要です)
マタニティ・フィットネス	金曜日	11:00~12:00	700円	
ママ・ヨーガ	火曜日	11:00~12:00	700円	産後6週から2歳位まで

糖尿病教室 [予約制] 場所：桑名西医療センター Tel: 0594-22-7111

内容	開催日	時間	参加費	その他
糖尿病ってどんな病気？ 糖尿病の基本を学びましょう	4月28日(木)	12:30~14:30	800円	食事あり
自宅でかんたん チューブトレーニング！	5月26日(木)	13:00~14:30	800円	おやつのみ
太る食事には理由がある ～菓子パンの秘密～歯槽膿漏について	6月23日(木)	11:00~12:30	800円	食事あり

減塩教室 [予約制] 場所：桑名西医療センター Tel: 0594-22-7111

内容	開催日	時間	参加費	その他
減塩の応用③(3回シリーズ)	5月10日(火)	12:30~14:30	1500円	減塩寿司の昼食

肝臓病教室 [予約制] 場所：桑名西医療センター Tel: 0594-22-7111

内容	開催日	時間	参加費	その他
肝硬変と肝性脳症	7月8日(金)	13:00~14:00	100円	資料代として

制度改正

4月から入院患者さんの食事負担が変わります！

法改正により、4月から一般の入院患者さんの食事負担(1食あたり)が360円に引き上げられます。また、平成30年4月にも増額が予定されています。

なお、低所得、指定難病、小児慢性特定疾患で入院する患者さんの食事負担は現行の金額に据え置かれます。

《現行》

	負担額(1食)
一般所得	260円
低所得II(**)	210円
低所得I(*)	100円

《平成28年4月から》

	負担額(1食)
一般所得	360円

《平成30年4月から》

	負担額(1食)
一般所得	460円

*住民税非課税で一定所得以下。
**住民税非課税。

GO! GO!

建設現場

レポート

vol.3

このコーナーでは新病院の建設に関する最新情報をお知らせします。



杭工事が完了！基礎工事のための掘削を進めています

新棟の建設地では、試験杭(*)の打ち込み作業を終えた後、杭工事を始めました。工事開始から約3か月、4月2日にF棟、G棟の建設地でそれぞれ進められていた杭工事が完了しました。現在、基礎工事に向けて掘削作業を進めています。

*杭打ちの本工事を始める前に想定した工法での工事が可能か、支持層(構造物を支えることができる地盤または地層)の深さなどが設計で想定した状況と異なっていないかなどの確認をすること。

F棟

コンクリート製の杭を縦に3本つなげ、直径約1メートル、長さ約35メートルの杭を54本打ち込みました。



G棟

直径約1.5メートル、長さ約35メートルの円筒状に組んだ鉄筋を穴に入れ、筒の中にコンクリートを流し込み、81本造成しました。



なんでも Q & A



Q

お友達のお見舞いに行きたいのですが、面会時間やその他のマナーについて教えてください。

A

桑名東、西及び南の各医療センターの面会時間は次のとおりです。この時間以外のご面会をご遠慮ください。

	東医療センター	西医療センター	南医療センター
平日	14:00~20:00	11:00~13:00	全日 13:00~20:00
土日祝	10:00~20:00	15:00~20:00	

また、次のことをお守りになり、他の患者さんのご迷惑にならないようお見舞いください。

- ◎ご面会を希望される方は、各病棟のスタッフにお知らせください。
- ◎小さなお子様(幼児)のご同伴は、なるべくご遠慮ください。
- ◎大人数でのご面会や体調の悪い方(咳や鼻水が出る方)は、ご遠慮ください。
- ◎感染予防の観点から、生花の持ち込みはご遠慮いただいております。

